ASS.

アバンツァーレ Jr.サッカークラブ

ありがとう!

3/14(土)卒業生を送るイベント第2弾! 『ジュニアユース壮行試合』です!卒業生チームと現中学2年生以下の新人チームのガチンコ勝負! 白熱した試合の結果は3対2の卒業生の勝利! 以下は、その日、コーチへ送られた報告メールです。

く卒業生キャプテンの報告メールコメント> 今日で形としてはアバンツァーレジュニアユー スは引退になります。壮行会でも話しましたが、 今振り返ってみると素直に『楽しかったな』と思 います。『終わりよければすべてよし』とはよく言 ったもので、量後の一年の、あのチームが出来上 がっていく感じ、サッカーができあがっていく感 じが最高に楽しかったから、全体としてそいうい うイメージになったのだと思います。一年生の頃、 ドリブルを徹底的にやりこんだコーチの判断は、 今考えるとこれ以上ないものでした。コーチとい い、チームメイトといい、自分のサッカー人生は **息まれているな、と感じます。 遅がいいとしかき** えません。とは言え、本当の勝負は高枝サッカー です。ある意味、これまでのサッカー人生の集大 成です。これからの、明日からの仙台一高 ● 篠岡 響に、大いに期待してください。



「アバンかわらばん」前書き

『ジュニアユース・アパンかわらばん』は中学生対象なので文章はあえて多めです。今回も盛り沢山!じつくり能んでください!さて、3月号でも伝えたのですが、改めて・・・、ジュニアユース5 類生の皆さん、卒業おめでとうございます。贈る言葉にかえて、そしてこれからのアパンの歴史を担う現ジュニアユース選手の皆さんへ、コーチの学生時代の恩師から頂いた言葉を贈ります。

『一隻の船は東へ、もう一隻は西に行く、同じ風を受けて 連路を決めるのは風ではない、帆の向きである

人の行く手も海を吹く風に似ている 人生の軌路でその行く末を決めるのは、 風でもなければ、嵐でもない、 心の持ち方です。



この前は、今までずっとコーチの心を支え続けてきました。 皆さん、卒業し、どんな環境に立とうが、結局は自分次第です。 自分自身の心を磨き続け、それぞれのステージで輝いて下さい。

♥Jrユース5期生。惜しくもPK負け。





3/8(日)卒業生を送るイ

ベント第1弾!『〇日戦』!

屋代のアバンOBに胸をか

り、高枝サッカーを肌で感じ

ることができました。

3/21(土)22(日)は卒業生を送るイベント第3弾! 『U15北中山杯』でした。U 15はPK戦の末、準優勝!U 14チームは3位!最後まで勝 負弱かった5期生(笑)それで も魅力的なサッカーで最後まで 観象を魅了しました!

● アパンスポーツSC交流試合。

AVANZARE Sports

確実に上手くなっ

またやろうぜ!

ています!

『放課後等デイサービス』とは、小学生~高校生までの発達に 心配のある子供や障害がある子供を、学校の放課後や体みの日 にお預かりし、生活能力の向上や訓練を行うものです。15年 間のアパンソァーレで培ってきたスポーツ指導を活かし指導に 取り組み、地域社会に貢献する心づもりです。

🚱 仙南協会長杯フットサル大会



アパンジュニアのフットサルでの大曜途に負けず、ジュニアユースもフットサル大会で優勝を果たしました。2日間にわたって行われた同大会。予選は中2、中1チーム共に全勝で勝ち抜き決勝リーグも突破、決勝トーナメントの結果、見事、優勝と3位を勝ち取りました。特に中2の決勝戦、4点先取されてからの逆転削(最終的には延長戦までもつれこみ7-5の勝利)は素晴らしかったです。アパンの技術の高さをアピールできたと共に、劣勢からあきらめず、逆転勝利をおさめるという、貴重な経験を得ることができました。

『アパンソァーレスポーツ仙台SC』のチーム活動がスタート。活動目標は『10月全国知的障害者サッカー観技会に参加』『他の団体との交流を行い、赤背の一助とする』です。今回、アパンジュニアSCチャレンジチームと練習試合を行いました(ジュニアユースの選手1名、GK1名が助っ人に入りました)試合は一進一退の白熱した攻防!結果は6対4のアパンスポーツSCの勝利!とても楽しい一時でした。



アバンでは毎朝のコーチ達の朝礼で「戦 場の教養」という母子をスタッフで輪談(声 を出して回し能み)しています。これは一 般社団法人倫理研究所発行の月刊誌です。 この『職場の教養』を利用し、活力あふれ る朝礼を実施している会社は数多くありま す。日ごとの1ページのコラムに考えさせ られたり、学んだり・・。以下は3月1 2日のページの文章です。ちょっと感動し たので皆さんに紹介します (^0^)/



3月12日(木) 『左様ならば』「さようなら』 日本語は日本文化の一つです。日頃何気なく使っている言葉の語源や由来 を学ぶことは、日本文化を知り、日本語を大切に扱うことにつながること でしょう。三月は出会いの月であり、別れの月でもあります。この三月に、 長年務めた職場との別れを迎える人もいるかもしれません。昭和初期のこ と、着名な飛行家であるチャールズ・リンドバーグ夫参が来日した時のこ とです。今のアン・モローは、日本館の別れの検拷である『さようなら』 に感銘を受けたといいます。『さようなら』は『左様ならば』が略されて 挨拶となった言葉です。『左様ならば。そういうことであるならば。ほん とうは別れたくないけれど、どうしてもそうならなければいけないのなら ば」という意味です。これが『さようなら』の額源であると知ったアン・ モローは、『これまで耳にした別れの言葉のうちで、このようにうつくし い言葉をわたしは知らない。と後に著書で綴っています。

どうでしょうか?「ほんとうは別れたくないけれど、どうしてもそうなら なければいけないのならば・・・」その後にはどんな言葉が続くのでしょ うか?相手のことを想う心。日本独自の粋な考え方に、コーチは朝からグ ッと感動を覚えました。皆さんはどう感じますか?

そしてこのように、「朝礼」はコーチたちのコミュニケーションの場、学 びの場、結束の場となり、今日も朝から元気良く働き始めています!

感動和

コーチが大学2年生の夏。当時小学4年生だった少年と 出会いました。初めて彼を見た時、てつきり女の子だと思い ました。その時の彼は、練習でアップが始まるとすぐに 『具合が思い』と言い、いつもグラウンドの隅で見学して います。頻繁に練習を休む子だったので最初は心配で、 『何か病気を持っているのかな』とさえ思っていまし た。それからコーチは練習のたびに面談を繰り返し、

粘り強く彼のことを知ろうと努力しました。彼が5年生の頃の全日本少 年サッカー大会の予選。『具合が思い』と言っていた彼に、コーチは『前 半だけがんばれ」といいながらもフル出場させてしまいました。ただ、 そこから本人の意識が変わったように思います。「フル出場」が彼に自信 をつけたのかもしれません。それからの彼の成長は、コーチの考えまで も交えてくれました。コーチが『指導者になろう!』と思わせてくれた のは他でもない彼なのです。

5年生の夏からは練習は休まず、めちゃめちゃ頑張る子になりました。 ただその頃はまだ周り人とコミュニケーションをとることが出来ない、 黙々とただひたすら練習に取り組む子でした。倒れる寸前ぐらいまでピ ッチを走り回り、ドロドロになりながらプレーする彼。闘う選手になっ たのですが、試合で削られ泣くことも多かったです。そのたびにコーチ は、『相手に削られるようなドリブルをする君が悪い。 もっと練習してう まくならなきゃいけないよ。と話し続けました。また、いつも鼻水をた らしているのに、ティッシュを絶対用意しない彼。それは今も全然変わ らないです。夏にJFAアカデミー福島のセレクションを受けたが発達。 その頃からコーチと一緒に毎日、朝練と衣練をするようになりました。 そこからはドンドン面白い選手になります。試合中に相手のキーパーを ヒールリフトで抜き去りゴールを決めるなど、誰もが認めるスーパーな

選手になりました。本当に誰よりも努力する選手 になりました。リフティングが6年生の10月ご ろまでは50回ぐらいしかできなかったのに、3 ヶ月あまりで3000回以上出来るように。朝練 ではドリブルとリフティングばかり。ただ、そん な時間を一緒に過ごせたことは、コーチの素敵な 思い出です。そんな彼が春からアパンツァーレの ジュニアユースに入ることを決めてくれました。 コーチが指導者として新たなスタートを切るこ のアバンツァーレで、これからの彼の成長をサポ ートできる喜びに感動しています!



『見えないところほどきれいに (きちんと する。はアパンのコーチの合き葉です。もち ろんコーチたちだって完ぺきではありませ んが、『そう意識し、努力する姿勢』が大切 です。以前にも紹介しましたが『毎日1時間 の掃除」「美しさへの追求」はアパンのコー チの大切な取り組みです。以下のメールは、 その取り組みの評価の表れかもしれません。 本当に嬉しく、励みになりました (^-^)/



常に『美しさ』を意識!

くアバンの保護者様から頂いたメール>

お世話になっております。いつも話題満載のかわらばん、家族 で楽しみにしてます。最新版を築んで間もなく、友人から『先日 仕事でアバン事務所に行ったら、裏の方までどこも整理整領されててビ ックリした。ああいうところで指導されたらいいよね。」と心を感心した 様子で言われました。彼女自身整理特に長けた人なのですぐ気づいたん だと思います。確かにそのような指導を受けているのに関わらず、息子 たちの身辺は???でもいつの日か目覚めてくれると期待してます。 塘しかったのでご報告まで。

ムたちの信条・

『どんな人でも成長すると信じる』これもアパンのコーチの合き業です。 『森田コーチの感動検話』もそうですが、今までコーチは数多くの『成長』 を目の当たりにしてきました。『奇跡』と呼んでもよいくらいの出来事もた くさんありました。下の記事の「リフティング研究部の部長」川部君はア パン史上に係る問題児でした。スクールの体操に混ざるのに1ヶ月かかり、 ある時は練習を脱走し、ある時は大事な試合中にプレーすることを放棄し た子です。それが今ではチームーのテクニシャン。チームの要です。

また、「足が遅いから選手コースになれない」と評価 された子が、最終的にチームで一番の後足ストライ カーに成長したこともありました。

そしてジュニアユースの一期生たちが証明した奇跡。 2ヶ夕以上の点数差で負けていたチームが最後には 2ヶ夕以上の大差で勝利するチームに成長しました。 これからもコーチや皆さんの『信じる心』がたくさ んの奇跡を起こし続けることでしょう!



『奇跡』のはじまり!

都長には超しアな

アパンウェアをプレ

川部空輝くんからの挑戦状

アバンジュニアユース『リフティング研究部』 では、「サッカーを楽しむこと」「ボールコントロ ール技術の向上。を活動目標に、日々鍛錬をつん でいます。4月も部長の川部空輝くんから課題を 出します。この課題をクリアした選手には●●●、

ゼントしました!

-チから何かプレゼント』

コーチの前で成功すればクリア!課題は、部 長●川部くんに直接聞くか、実際にやっている動 画をホームページで見てください!アバン公式ホ ームページの『What'new』にプレ 動画をアップしています。



前回の課題の『世界 -周•3連続』 とうとう課題クリア 選手が出ました! 畑中ゆうた君(小6) **煮晴らしい!!**



